

## 2017年版 Hruska Clinic®推奨 靴リスト

### クッション

New Balance 1080 V7

Brooks Transcend 4

**Brooks Glycerin 14** (PRI 足底板使用者向け)

Altra Paradigm 2 (1<sup>st</sup> ray 伸展制限ある人向け)

Altra Torin 2.5 (左右に偏らないニュートラルな造り)

Brooks Ravenna 8

New Balance 880 V6

### ガイダンス

New Balance 1080 V7

Brooks Transcend 4

Altra Provision 3.0

(中足部のガイダンス向け)

Asics 2000-5

Asics Gel-Kayano 23

Brooks Dyad 9

New Balance 860 V7

### コントロール

Asics Gel-Foundation 12

Brooks Addiction 12

Saucony Echelon 5

各カテゴリーの中でも特に好ましい靴は**太字表記**されています。Altra ブランド(ゼロ・ドロップ)を使用する際は、踵の感覚を確立させてから徐々に慣らしていくことをお勧めします。

\*これらの靴を履き、少し歩行した後 PRI テストが陰性になったら(特定の多関節筋連鎖の制御が可能になったら)その靴は患者に合っていると判断することが可能です。



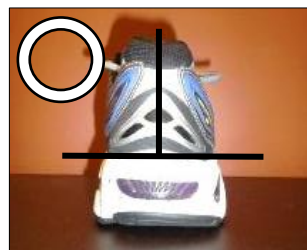
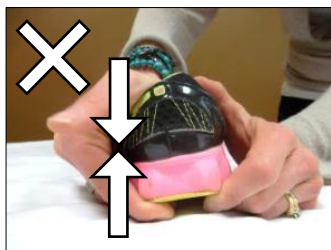
ヒールカウンターを後ろから押ししても潰れない



トーボックスは容易に曲がるが、靴の中心は曲がらない



踵側部が丈夫に作られており、負荷をかけても変形しない



踵の高さが内側と外側で等しい



\*歩行の際、ゲイトのサイクル全体を通して踵の安定性を感じられること、そして立脚中期から後期(踵離地)を通じて土踏まずの踏み込みを感じられることが重要です。

PRI Japan ではこれらの靴の直接販売はおこなっておりません。靴の取扱についてはお近くの販売店、もしくは各種オンラインストアに直接お問い合わせください。